



## ルーマニア Romania



### たばこ産業の特徴

1. ルーマニアはポーランドに次いで中東欧では第2位のシガレット市場である。  
喫煙者は800万人を超え、年間市場規模は420～430億本の成長市場である。
2. 喫煙規制は比較的緩やかであったが、EU加盟を見越して厳しくなりつつある。
3. ルーマニアのシガレット・メーカーは、輸入製品の強力な販売力を阻むことができるブランドを供給できていない。
4. 2001年12月にルーマニア専売は株式の53%をInterAgro持ち株会社が取得し、民営化された。
5. 2000年の専売当時シェアは37%あったが、最近では20%にまで低下している。
6. 大手多国籍企業のBAT、Philip Morris、JTIとギリシャのPapastratosがルーマニア国内で製造しており、外国企業がシガレット市場の80%を占めている。
7. BATは市場の約30%を獲得している。（主要ブランドはViceroy、Derby）

### [1] 法規制等

#### ・警告文等:

ルーマニア語による健康注意表示が必要。

#### ・喫煙場所規制:

国内線は禁煙、国際線は規制されている。

教育機関は禁煙。

政府建物は自主的に禁煙、あるいは喫煙場所が規制されている。

病院、公共輸送機関は禁煙。

職場は自主規制。

その他の公共の場所は喫煙が規制されている。

#### ・販売規制:

18歳未満の者への販売禁止。違反者は50万～500万ROLの罰金。

#### ・広告規制:

ラジオ、テレビ、雑誌、新聞による広告は自主的に禁止している。

広告、スポンサー、プロモーション、メディアの種類による広告規制がある。

ラ公共輸送機関の切符、印刷メディアの最初と最後のページへの印刷による広告は自主規制で禁止。

未成年者向けショウにおける娯楽ホールでの広告、たばこ製品が癒しの効果があることを暗示するような広告は自主規制で禁止。

#### ・販売促進活動:

規制はない。

#### 規制の動向:

2001年12月のクリスマス直前にルーマニア厚生省は反喫煙法を通過させた。

これは明らかに現在のヨーロッパの規制の影響を受けたものである。

この法律は特に、喫煙場所が定められていない空調された公共の場所での喫煙を禁止している。

違反喫煙者の罰金は50～150ドル。

健康表示も方法が決まれば実施される。

包かの30%に警告表示をし、ニコチン表示も必要になる。

### [2] 税制

従価税	小売り価格の	30.00%
付加価値税	小売り価格の	15.97%
特別税	1000本当たり	2.00 ドル
	小売り価格に対する税負担率	60.60%

### [3] 喫煙者プロフィール

ルーマニアには800万人の喫煙者がおり、喫煙率は男性が55%、女性が45%である。

購買力は限られているが、平均的な喫煙者は年間5,300本を消費している。

大多数の喫煙者は0.26～0.70ドルの製品を購入している。

消費本数国民1人当たり1676本（1997年）

15歳以上の喫煙者率（1994年） 14～16歳の喫煙者率（1996年）

男性	42.7%	男性	2.8%
女性	15.2%	女性	12.3%

### [4] 市場概要

- ・ ルーマニアはポーランドに次いで中東欧では第2位のシガレット市場である。喫煙者は800万人を超え、年間市場規模は420～430億本の成長市場である。
- ・ 2,250万人を超える人口があるが、1人当たり月収が100ドルのルーマニア市場はたばこ産業にとって低マージン市場である。  
しかしが成長市場であるために多国籍企業は市場競争をしている。
- ・ ルーマニアのシガレット・メーカーは、輸入製品の強力な販売力を阻むだけのブランドを供給できていない。
- ・ 大手多国籍企業のBAT、Philip Morris、JTIとギリシャのPapastatosがルーマニア国内で製造しており、外国企業がシガレット市場の80%を占めている。
- ・ BATは市場シェアを約30%獲得している（主要ブランドはViceroy、Derby）。Philip Morrisは1/5を超えるシェア（主要ブランドはL&M、Marlboro、Red & White）。JTIは1/5のシェア（主要ブランドはMore、Rebel）。
- ・ シガレットの主要供給国はハンガリーであり、約20億本をハンガリーから輸入した（1999年）が、2000年には1999年の1/4に減った。  
急減の理由はロシアやウクライナから安価な製品が2000年、2001年に流入したためである。
- ・ 2001年12月にSNTR（Societatea Nationala Tutunul Romanesc S.A.：旧ルーマニア専売）の株式の53%をInterAgro持ち株会社が取得し民営化された。  
2000年の専売当時シェアは37%あったが、最近では20%にまで低下している。
- ・ ルーマニアで製造している多国籍企業のBAT、Philip Morris、JTIのいずれもがSNTRの買収には興味を示していない。  
しかしGallaherは関心を示しているといわれている。

#### 大手国際企業のルーマニアでの主要ブランドとシェア

BAT-Rothmans： Viceroy、Derby	30.00%
Philip Morris： L&M、Red & White	21.50%
JTI： More、Rebel	21.40%

#### シガレット・データ（単位 億本）

	1995年	1998年	1999年	2000年	2001年
製造数量	205	260	345	350	353
輸入数量	208	70	55	58	50
輸出数量	1	1	1	2	2

#### 企業別シェア（2001年）

企業名	シェア
BAT-Rothmans	30.00%
Philip Morris	21.50%
JT International	21.4～21.6%
Romanian Tobacco S.A.	20.10%
Papastatos	3.30%

## [6] 製品プロフィール

- ・ ルーマニア市場で販売されているシガレットの61.5%が20本入り1包が当たり0.33～0.70ドルである。  
シガレットの輸入関税は100%である。
- ・ 増税により安いセグメントへ移行している。  
現在のところ最もアクティブなセグメントは中価格とサブ中価格帯であり、量的には市場の61.5%を占めている。  
市場の80%弱を占めている大手国際メーカーは最近これらの価格セグメントに重点を置いている。
- ・ ルーマニアで販売されているベストセラーの国際ブランドはBATのViceroyであり、サブ中価格帯で注目されている（シェア17.5%、1包が0.56ドル）。
- ・ サブ中価格帯でBATとPhilip Morrisはローカル・ブランドを発売してかなりの成功をおさめている。  
BATのDerbyは0.38ドルで売られおりシェアは7%。
- ・ Philip MorrisのRead and Whiteは同じ価格で販売されているがシェア9%に急増中。
- ・ JTIは2000年に同じクラスのRebelが不発に終わった後、2001年にMoreブランドのローカル・ブランドを発売した。  
また、ポピュラー・セグメントでRomanian Tobaccoの旗艦ブランドCarpati（ブレイン・シガレットではベストセラーで、市場シェアは14.3%）に対抗すべくブレイン・シガレットを発売する。
- ・ SNTRのベストセラー・ブランドはCarpati（64mmブレイン、シェア14.3%）、Snagov（84mm、フィルタ付き、シェア3.5%）、Record（84mm、フィルタ付き）、Coloana（84mm、フィルタ付き）である。
- ・ 最近の調査では、包が当たり1.05ドルのプレミアム・シガレットの好みが増える傾向にある。  
プレミアムセグメントは2000年半ばの5%から、去る4月には6.5%も伸びている。  
同じ時期にポピュラー・セグメント（0.33ドル以下）は31%から22%へ減少した。  
ローカル・ブランドの中価格帯が品質やモダンデザインで強化され、消費者に受け入れられている。

## シガレット価格セグメント

価格カテゴリー	価格	ブランド	市場シェア
プレミアム・ブランド	1.05～1.56ドル	Kent, Marlboro, Davidoff	6.50%
スパー・ブランド	0.70～1.05ドル	Lucky Strike, Gauloises	10.00%
メディアム・ブランド	0.54～0.70ドル	Viceroy, Pall Mall, Monte Carlo, LM	34.00%
サブメディアム	0.33～0.54ドル	Berby, Red and White, Snagov	27.50%
ポピュラー・ブランド	0.26～0.33ドル	Carpati(plain), BT, JetSet	22.00%

(出典：ルーマニア財務省)

国産ブランド	0.25～0.45ドル
BAT	0.60～0.70ドル
Pall Mall	0.65～0.75ドル
L&M	0.65～0.75ドル
Kent	1.05～1.20ドル
Marlboro	1.05～1.20ドル
Dunhill	1.50～1.65ドル

## [7] 企業概要

## 状況

旧ルーマニア専売のSNTR (Societatea Nationala Tutunul Romanesc S.A.) は、2000年5月に国内のアグリフード・肥料・保険事業の持ち株会社 InterAgro が競争入札で落札した。

しかし2000年9月に最高裁判所は国営たばこ会社の InterAgro への売却に無効判決を下し、民営化はキャンセルされた。

その後 InterAgro が支払った前払い金を財務省が返還しなかったために SNTR は150万株を差し押さえる勝訴判決を得て、2001年12月に InterAgro は SNTR の総株式の51.28%を取得した。

2002年12月には SNTR のこれまでの2,250万ドルを超える赤字を国へ返還するために、SNTR の資産の一部を政府に引き渡すことになった。

InterAgro は、SNTR の資産の再評価をして現金で返済し、2003年2月までにはルーマニア・ブランドのシガレットの製造再開が可能であると言っている。

来期に SNTR がシガレット製造を再開できなければ、InterAgro は自分で乗り出すであろう。

## 多国籍企業の主な現地投資先

Philip Morris Romania s.r.l

British American Tobacco (Romania) Trading s.r.l

JT International (Romania) s.r.l. (RJR, 1994年 8,000万ドル投資)

## SNTR (旧ルーマニアたばこ専売) :

旧ルーマニアたばこ専売の SNTR (Societatea Nationala Tutunul Romanesc S.A.) は国内のあらゆるたばこの管理をしている。

旧たばこ専売は1990年初めには国内市場の99.5%を占めていた。

現在は6工場で27の国内ブランドを350億本製造している。

Bucharest、Timisoara、Tirgu Jiu、Rimnicu Sarat、Iasi、Sfintu Gherge の6工場の製造能力は年間600億本である。

ブレイン・シガレットの Carpati、Marasesi、その他で売上げ数量の70%を占めている。

2002年2月に国内ブランドのシェアは数量で17%、金額では9.4%になった。

ブレイン・シガレットは今では数量で12%未満、金額で5%のシェアに落ちている。

国際シガレット企業はルーマニア産業を使用していない。

これは葉たばこの品質が一定でないからである。

SNTR は合理化を進めて複数の旧式の醗酵処理工場を閉鎖したり、可能な所は再乾燥工場に転換している。

6つのシガレット工場のうち3工場を継続する予定で、これでシェアに合う製造規模になる。

年間14,000トン処理のスレッシング施設を購入しており、中骨処理と中骨膨化も行う。

業界の専門家は実際の市場シェアはシガレット工場2工場と醗酵処理工場1工場分しかなく、現在の社員の半分で済むと言っている。

ルクセンブルグの Heintz van Landewyck 社はシガレット、RYO、葉巻、パイプたばこの製造では150年以上の歴史があるが、Romanian Tobacco の工場の一つと協力してルーマニア国内で製造事業拡大を望んでいる (2001年)。

## [8] 葉たばこ概況

栽培適地は10万ヘクタールを超えているが、近年栽培面積は1万4,000ヘクタールを超えることはなく、年間葉たばこ年産量は9,000～10,000トンである。

2002年の全生産数量は9,000トンを超えなかった。

クラシック・オリエントの品質は国際基準に達している。

2002年のオリエント葉生産量は2,000トンである。

国際葉たばこディーラーの Dimon がブカレストに事務所を開設している。